

# きれい 甲斐

No.29 FEBRUARY 2005

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県循環型社会推進課内  
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 ①junkan@pref.yamanashi.lg.jp  
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 企画委員長 末木 勝人

## 地球温暖化防止のための県民参加型環境保全事業

### 『サマーエコチャレンジ2004』

### 『夏の「創・甲斐(爽快)」エコスタイルキャンペーン』

を実施しました!

環境パートナーシップやまなしでは、地球温暖化防止を推進するため、私たち県民一人ひとりのライフスタイルや事業活動を、環境負荷の少ないものへと転換するきっかけづくりを目的として、夏期の電力使用量の削減に取り組む『サマーエコチャレンジ2004』、夏のビジネスシーンでの軽装を呼びかける『夏の「創・甲斐(爽快)」エコスタイルキャンペーン』を実施しました。

この度、その実施結果と各参加者の取り組みなどをとりまとめましたので報告します。

## 『サマーエコチャレンジ2004』実施状況

### ■事業の内容■

環境パートナーシップやまなしの会員、一般県民及び各事業者において、平成16年8月から9月の間の1検針期間、昨年同時期に比べ何パーセント電気使用量を削減できるか、自ら目標を立て節電に取り組んでいただくものです。目標を達成した各世帯には、達成証及び記念品を贈呈します。また、達成率、使用量、取組内容等を総合的に評価し、取り組みが優良な世帯を優良取組世帯として記念品を贈呈します。

### ■実施結果■

平成16年の夏は、県内で観測史上全国で2番目の40.4℃を記録するなど、真夏日が最多の86日を数え、冷夏であった一昨年と比較すると、節電にチャレンジするには、大変厳しい状況でありました。そうした状況にもかかわらず、個人部門では90世帯(33%)が昨年より使用量が減り、うち75世帯(28%)が見事に削減目標をクリアしました。

個人部門の取り組み内容を見ると、扇風機やうちわの併用でエアコンの設定温度を調整したり、誰もいない部屋の明かりを消すなど、ちょっとした心がけが着実な削減に結びついているようです。

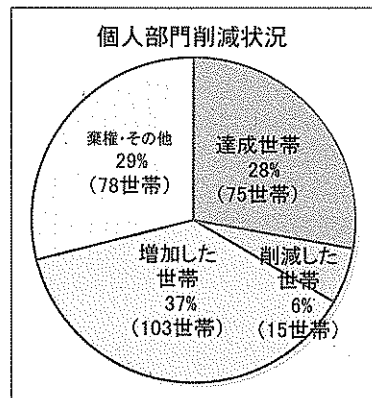
猛暑だった今夏は、こまめな節電を心がけると同時に、楽しみながら取り組むことが目標達成につながったようです。

こういった取り組みは、あまりがんばり過ぎると、一時的なもので終わってしまうことも考えられます。少し長い目でみて、できることを継続していくことが大切です。

事業所部門では、エアコンの温度を常に28℃に設定したり、パソコンや蛍光灯などを使用しない時には、まめに消すなどの取り組みが行われています。また、節電に取り組むためには、お客様の理解を得るなかで社員一丸となって取り組むことが必要ようです。

#### 〔個人部門〕

- 参加世帯数：271世帯
- 前年比減少世帯：90世帯（うち目標達成世帯数：75世帯）
- 平均削減率：▲3.89%
- 優良取組世帯：12世帯



# SUMMER ECO CHALLENGE 2004



(参考) 世帯員別月間電気使用量平均(kwh/日)

1人	6.37	4人	12.33	7人	17.52
2人	9.22	5人	11.57	9人	20.45
3人	11.61	6人	15.85	-	-

〔事業所部門〕

- 参加事業所：11事業所
- 前年比減少事業所：5事業所（うち目標達成事業所数5事業所）
- 平均削減率：▲1.01%

参加事業所

- ・山梨通運株
- ・東京電設サービス株山梨支社
- ・三英電業株
- ・株山梨中央銀行
- ・ダイドードリンコ株甲信支店
- ・秋山土建株
- ・東京ガス株甲府支社
- ・山梨日本電気株
- ・株NTTドコモ山梨支店
- ・株桑原組
- ・商工組合中央金庫

【参加者の取り組み等】

(個人部門)

- 夕方に、前日の風呂の水を庭にまき、夜の熱気を防ぐようにした。
- 冷蔵庫に物を詰め過ぎず、開閉をすばやくした。
- エアコンの使用は来客時だけにして、居間の窓は6枚のすだれを吊し、よしずを使用して暑さをしのいだ。
- 未使用の部屋の電気は元から抜き、まめにスイッチを切るなどして節電に努めた。
- 子どものテレビやビデオをやめ、休日は家族全員で図書館、買い物、公園などに出かけ、家にいる時間を少なくした。結果的に、家族全員で休日を楽しめるようになった。
- エアコンを節電するため、子ども部屋を別々に使っていたものを、寝室と勉強部屋に分けて共同で使用した。
- お風呂の水を昼間のうちに1/4程度入れておき、暑さで水の温度が上がり、お風呂を沸かす時間が短くなり、電力量の削減につながった。
- お湯を沸かす時に、電気ポットを使わずに、その都度、ガスコンロで沸かした。
- エアコンの設定温度を上げ、扇風機やうちわを併用した。
- あまり使用しない洗面所、風呂場、トイレの電球をワット数の小さいものに交換した。
- 深夜電力を有効利用し、充電、アイロン、洗濯機、食器洗浄器などを利用した。
- 洗濯物が少ないときは、数日間分をまとめて洗うようにした。
- トイレの便座やウォシュレットの常温をやめた。……など

(事業所部門)

- 社員全員で目標に向かって努力した。気がついた社員は使用していない機器の電源を切ったり、エアコンの設定温度を上げた。
- エアコンは28℃に設定し、事務所内、廊下等の照明を部分消灯した。
- チェックリストを作成し、最終退社者は電気の消灯の確認をした。
- コピー、プリンタの省エネモードの設定
- 日差しが入らないようにブラインドで調整し、エアコンの風量、温度を時間帯で調整した。
- 電気ポットやコーヒーメーカー、テレビ等の電化製品は、休日時には元からプラグを抜いた。
- エレベーターの使用をなるべく控え、階段の昇り降りを実施した。

## 夏の「創・甲斐(爽快)」エコスタイルキャンペーン実施状況

### ■事業の内容■

地球温暖化防止のための温室効果ガス削減に向けては、県民・事業者の「ライフスタイル、事業活動の変革」による取り組みの重要性が増しています。

このため、オフィス等の適正冷房徹底による省エネルギーの一層の推進を図り、個々の事業者が自主的に実践していた取り組みを集約することにより、お客様や取引先など事業活動に関わる関係者の理解と協力を促し、蒸し暑い真夏でも「軽装では相手に失礼」といった考え方を、「夏の軽装は省エネにつながり環境にやさしい。軽装こそ良識」というものに変え、環境と共生する新しいビジネス文化、県民性を本県に根付かせることを目的として、従来のビジネスファッションの慣行・常識を見直し、夏季のさまざまなビジネスシーンでの軽装を呼びかけるため本キャンペーンを実施しました。

○実施対象

環境パートナーシップやまなし会員団体、事業所、自治体及び一般事業所など

○実施期間

平成16年7月20日～9月23日

○実施項目

期間中のビジネスシーンでの軽装を奨励し、執務室等の適正冷房の徹底を図る。

①適正冷房の基準

- ・事務所、会議室における適正冷房の実施（28℃）
- ・電車、バスなど公共的な場所における過冷房の抑制

②軽装の奨励

各団体や企業等において、職場における服装として信用と品位を損なわず、



暑苦しさや不快感を感じさせない清潔感のある軽装を奨励する。

## ■実施結果■

### ○賛同事業所

#### (企業)

山梨県トラック協会、生活協同組合市民生協やまなし、東京電力㈱山梨支店、山梨通運㈱、東海旅客鉄道㈱南甲府駅、㈱サンポー、オリエンタルモーター㈱甲府技術研究所、尾瀬林業㈱山梨支社、東京ガス㈱甲府支社、東京電設サービス㈱甲府支社、生活協同組合コープやまなし、ダイドードリンコ㈱甲信支店、山梨日本電気㈱、甲府カシオ㈱、㈱NTTドコモ山梨支店、㈱NTTソルコ山梨営業所、ドコモ・サポート㈱山梨センター、㈱テブコシステムズ山梨支社、㈱桑原組、東京リビングサービス㈱、東京エレクトロンAT㈱

#### (団体等)

山梨県、山梨県漁業協同組合連合会、旧下部町商工会、鯉沢町役場、旧上野原町役場、旧双葉町役場、勝沼町役場

### ○その他、自主的な取り組み、意見等

- ・社内で各自のポスターを公募した。
- ・職場別の温度実績の公表を行った。
- ・各職場を巡回し、省エネパトロールを行った。
- ・早朝の清掃時に窓を開放し、冷気を取り込んだ。
- ・ブラインドにより遮光を徹底した。
- ・お客様には理解され、いい反応だった。……など

## 《東山梨地域クリーンキャンペーン》

「東山梨地域クリーンキャンペーン」は、県のやまなしクリーンキャンペーンにあわせて毎年11月末に実施しております。平成9年の会設立以来、8回目となる今回は11月30日（火）に実施しました。

地域の関連する20団体と個人会員13名及び県や関係市町村の御協力もいただき、総勢約170名が参加しました。地域内の甲斐大和駅から春日居町駅までのJR6駅にて、午前7時30分から通勤・通学客などに環境保全の啓発活動や駅周辺の清掃活動を行いました。

啓発活動では、アイドリング・ストップや省エネ、リサイクルなどを呼びかけるチラシを配布し、清掃活動では、6駅で燃えるゴミ約126kg、空き缶等約110kg、不燃物約75kgの収集を行いました。

今後も、環境に配慮した行動や環境問題の解決に向けた活動が地域ぐるみで行われるよう、自主的な実践活動の積極的な推進を図っていききたいと思います。



塩山駅北口での清掃活動

東山梨地域「環境首都・山梨」づくりパートナーシップ会議 会長 塚田 則夫

## 行事予定

### ★クラフト昆虫展

2月1日（火）～3月31日（木）9時～17時  
ダンボール紙や木、竹で作った昆虫を約200点展示します。  
また、ダンボール紙の昆虫の作り方教室を行います。作り  
方教室は、入館料と材料費で参加できます。日程については、  
お問い合わせください。  
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・祝日の翌日  
展示場所：北杜市オオムラサキセンター  
入館料：大人400円 小中学生200円  
【お問い合わせ先】  
北杜市オオムラサキセンター 電話 0551（32）6648

### ★春休み3日間だけの特別企画 ～KEEPおもちゃの森～

3月23日（水）～3月25日（金）10時～17時  
場 所：清泉寮本館ホール  
対 象：2歳～6歳くらいの子どもたち  
入場料：無料  
※10名以上でご来場予定の方は、予めお電話にてお申し込  
みください。  
基本的に、大人の方が同伴してください。  
【問い合わせ先】  
（財）キープ協会企画室 電話 0551（48）2169

### ★松村誠写真展

2月19日（土）～4月10日（日）9時～17時（最終日は16時まで）  
昨年、アラスカを中心にした写真展「ひかる国、いのちの  
くに」で好評を博した松村誠氏の近作は、北巨摩の豊かな  
自然とそこに育まれる生き物たちが中心です。約35点の作  
品が語りかける作者と自然との対話に耳を傾けてみてくだ  
さい。  
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・祝日の翌日  
展示場所：北杜市オオムラサキセンター森林科学館  
入館料：大人400円 小中学生200円  
作家来館日：長坂聖マリヤ教会にお問い合わせください。  
（電話 0551-32-2441）

【お問い合わせ先】  
北杜市オオムラサキセンター 電話 0551（32）6648

### ★春の全国交通安全運動

4月6日（水）～4月15日（金）  
運動のスローガン  
「やめようよ 自分のルールで 走るのは」  
安全運転を心がけましょう！

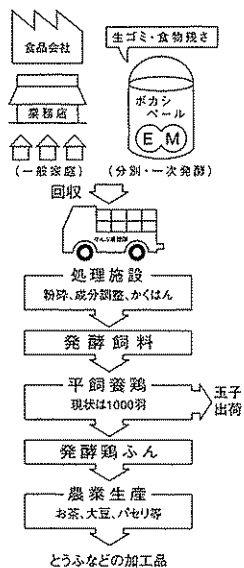
# — EM（有用微生物群）活用で生ごみを資源化 — 持続可能な“農”を中心とした、循環型の町づくり

環境の会なんぶ・NPO法人なんぶ農援隊

1. 特定非営利活動法人なんぶ農援隊は、平成10年9月に発足した「環境の会なんぶ」の活動の中で、生ごみの資源化に取り組み、循環型社会の構築と自立した活力のある町づくりを実現するための“実践の中心部隊”として、平成14年10月に結成されました。

2. EM（有用微生物群）の発酵を利用して、生ごみの資源化を行います。  
現在は、業務店を中心に月12トンを超える生ごみ・食物残渣を回収資源化していますが、将来は、行政との協働により、南部町の一般家庭・業務店・事業所の生ごみのすべて（推定54トン）を資源化することを目指しています。

## 生ゴミ資源化の工程



① 生ごみの発酵飼料による、平飼・自然養鶏によるアンモニア臭のない・ハエの発生しない、ワクチン・抗生物質入りの配合飼料に頼らない健康な餌による安全・安心で、アレルギーのおこらない卵の生産。  
“なんぶEM地鶏”を創出し、養鶏事業の住民への普及もして行きます。また、ヤマメ・コイ・鮎などの魚類を始め、犬・猫などペットの飼料についても、研究・開発を進めています。

② EMボカシ鶏糞とEM資材での、大豆・米・ネギ・パセリ・お茶での“EM自然農法の確立”ができ、果樹・花なども視野に入れて南部町独特のEM特産品を作り出し、農家へのEM自然農法の普及を行っ

ています。

③ EM資材を活用した、消臭・防虫・化学汚染の解消の分野では、峡南衛生組合・富士市食肉処理センターなどで大きな成果を上げています。さらに、行政・民間の施設の要望にも応じ、環境浄化へのEMの活用・普及を進めて行きます。

④ 田舎暮らし希望者の受け入れ及び援助、田舎暮らし体験ツアーの企画

以上の活動を通して、町の自立と活性化、町おこしに参加して行きます。

3. EMの作り出す“抗酸化作用”、“各種生理活性物質”、“抗酸化波動”は、自然界すべてを（酸化・腐敗・崩壊）から（抗酸化・還元・蘇生）への転換を可能にします。EM技術は、ハイクオリティー（高品質）で、ハイセーフティー（高安全性）で、ローコスト（安価）が特徴で、古代より自然が営み続けてきた、循環する持続可能な社会をよみがえらせる技術です。なんぶ農援隊は、このEM技術の利用を広めるため、調査・研究・資料提供・研修・講演・講習・宣伝などの実践活動を進めて行きます。

持続可能な資源循環型の“農”を中心とした町おこし事業の実現は、行政・地域住民・住民組織・業者組織・NPOの協働・連携と役割分担の構築無しには不可能です。

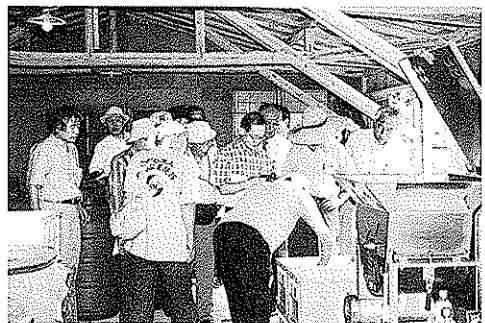
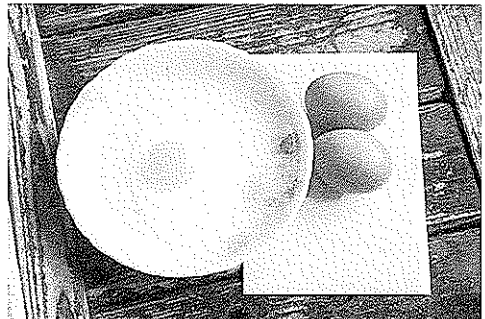
なんぶ農援隊の活動の基本は、「和」によって成り立ちます。

「和」とは、あたたかい・やさしい・おもいやりの“こころ”です。

環境の世紀：21世紀を破壊に導くのか・・・蘇生に導くのか・・・

それは、まさに、ひとの「こころ」が、決定します。

環境の会なんぶ・NPO法人なんぶ農援隊  
〒409-2217 南巨摩郡南部町本郷8321番地  
TEL/FAX0556-64-3535



## ●投稿募集中【投稿要領】

①スペースはA4版程度で、1,200～1,500字の原稿と写真2～3枚です。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所等）、連絡先は必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由ですが、他の団体・個人等の批判は避けてください。④締切は特にありません。⑤投稿は、事務局へお願いします。